

ポリカーボネート製 デシケーター SPD-240シリーズ

取扱説明書

はじめに

この度は、「ポリカーボネート製 デシケーター SPD240シリーズ」をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

製品を正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をお読み下さい。

本書は、製品を安全に正しくご使用頂き、事故や損害を未然に防ぐため、安全上、特に注意すべき事項について記載しております。

本書の指示を厳守しないと、怪我や事故の恐れがありますのでご注意下さい。

尚、本書は、必要な時、すぐに見えるよう手近な所に大切に保管して下さい。

- ・本書の内容は、製品の性能、機能の向上により将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しては万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れにお気づきになりましたら、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

仕様・梱包内容



商品コード	59-0411	59-0412	59-0413	59-0414	59-0415	59-0416	59-0417
型式	SPD-240	SPD-V240	SPD-VGT240	SPD-VGS240	SPD-WV240	SPD-WVGT240	SPD-WVGS240
真空バルブ	-	○	○	-	○(2つ)	○(2つ)	○
真空計付 真空バルブ	-	-	-	○(側部)	-	-	○(側部)
真空計	-	-	○(蓋上部)	-	-	○(蓋上部)	-
材質	本体、蓋:ポリカーボネート オリング:NBR 中板:ポリカーボネート						
サイズ	蓋外径:φ296mm 内径:φ239mm 全高:288mm 有効高:185mm 中板径:φ235mm						

※有効高は中板より蓋のカタ部分まで。

※Oリングは本体にセットして梱包されております。

※別売にて磁製中板(85-1116)・ステンレス製中板(85-3116)もございます。

使用方法

■SPD-240(バルブ無しタイプ)

▲ 警告 本製品はポリカーボネートを主原料としています。
変形などの恐れがあるため、直火または火気類付近での使用は避けて下さい。
高温での使用は、製品強度の低下による事故の原因となりますので注意して下さい。

▲ 警告 オートクレーブは使用しないで下さい。

▲ 警告 グリース類はポリカーボネートを侵す恐れがありますので、絶対に使用しないで下さい。

- ① 本体を水平な台上に置き、中板を本体に水平にセットして下さい。
シリカゲル等の吸湿剤を用いる時は、中板が浮き上がったり、傾かないようにして下さい。
- ② 中板上に試料等がこぼれないように置いて下さい。
4ページに記載の薬品等を含む試料の乾燥・保管には絶対に本製品を用いしないで下さい。
- ③ 高温のものを入れる場合は、別売品の磁製中板(85-1116)もしくはステンレス製中板(85-3116)を用いて、
デシケーターに触れないようにするかあるいは冷却してから入れて下さい。

※使用温度範囲:約-30~85℃

- ④ Oリングが本体の溝によじれなく収まっていることを確認し、蓋を被せて使用して下さい。
また、接合部にはグリース類は不要です。
グリース類はポリカーボネートを侵す恐れがありますので、絶対に使用しないで下さい。

使用方法

■SPD-V240/SPD-VGT240/SPD-VGS240/ SPD-WV240/SPD-WVGT240/SPD-WVGS240（バルブ付タイプ）



警告

本製品はポリカーボネートを主原料としています。
変形などの恐れがあるため、直火または火気類付近での使用は避けて下さい。
高温での使用は、製品強度の低下による事故の原因となりますので注意して下さい。



警告

オートクレーブは使用しないで下さい。



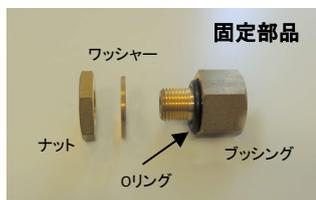
警告

グリース類はポリカーボネートを侵す恐れがありますので、絶対に使用しないで下さい。

①同梱のバルブを本体側面に下記の手順でねじ止めして下さい。

【バルブ取り付け手順】

1.ブッシングの根元の溝にリングを付けてデシケーター本体に通し、
デシケーターの内側からワッシャー、ナットで固定して下さい。



警告

締め過ぎないようにご注意下さい。締め過ぎるとOリングが潰れてリークの原因になります。
ある程度動かなくなる位に締めて下さい。

2.取り付け後、ニードルバルブのコックを閉めて下さい。

②本体を水平な台上に置き、中板を本体に水平にセットして下さい。
シリカゲル等の吸湿剤を用いる時は、中板が浮き上がったり、傾かないようにして下さい。

③中板上に試料等がこぼれないように置いて下さい。
4ページに記載の薬品等を含む試料の乾燥・保管には絶対に本製品を用いないで下さい。

④高温のものを入れる場合は、別売品の磁製中板(85-1116)もしくはステンレス製中板(85-3116)を用いて、
デシケーターに触れないようにするかあるいは冷却してから入れて下さい。

※使用温度範囲:約-30~85°C

⑤Oリングが本体の溝によじれなく収まっていることを確認し、蓋を被せて使用して下さい。
また、接合部にはグリース類は不要です。
グリース類はポリカーボネートを侵す恐れがありますので、絶対に使用しないで下さい。

⑥庫内を減圧する場合、真空ポンプと本製品を別売の真空ゴム管(内径φ6mm)で接続し、
本体のニードルバルブのコックを閉めた状態で真空ポンプを作動して下さい。
ニードルバルブのコックを徐々に開け、ゆっくりと減圧して下さい。
※真空ポンプ保護の為、コールドトラップ(別売)を取り付ける事を推奨します。
減圧後はニードルバルブのコックを閉めて、真空ゴム管を外して下さい。



警告

本製品の1Torr(約133Pa)以下の減圧は絶対に行わないで下さい。
また、急激な減圧も行わないで下さい。
少しでもキズやヒビ、変形がある場合、ただちに減圧での使用はお止め下さい。
さらに減圧の状態から常圧に戻す際も、急激な圧力変化が起こらないようにして下さい。
本製品が破裂し、事故や怪我の恐れがありますので、注意して下さい。

⑦庫内を常圧にする場合、ニードルバルブのコックは徐々に開け、常圧に戻して下さい。

耐薬品性



警告

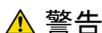
本製品の主原料であるポリカーボネートは耐薬品性に優れてはおりません。
強酸、強塩基、強酸化剤や有機溶剤の使用は避けて下さい。
本製品が侵され、強度の低下による事故の恐れがありますので、注意して下さい。

本製品の室温での耐薬品性は下表の通りです。
詳細な耐薬品性が必要な場合はお手数ですが弊社までお問合せ下さい。

強酸類	不可	ハロゲン化炭化水素	不可
強塩基類	不可	ケトン類	不可
強酸化剤	不可	脂肪族アルコール	可
エステル	不可	アルデヒド	可
芳香族炭化水素	不可	脂肪族炭化水素	可

※耐薬品性の表示はあくまでも目安としてお考え下さい。

洗浄方法



警告

ポリカーボネートは有機溶剤に対して耐性がありません。
よって、ベンジン等の溶剤や塩素性洗剤の使用は絶対に避けて下さい。
また、洗浄時には、庫内に残留している薬品類に十分注意して下さい。

- ① 柔らかい布等を水で湿らせ、汚れを拭き取って下さい。
金属ブラシや磨き砂など製品を傷付ける恐れのあるものは使用しないで下さい。
- ② 洗浄後は、十分乾燥させて使用して下さい。
- ③ 洗浄時の洗剤使用はお控えください。

※本製品はポリカーボネート製ですので傷が付き易いためご注意下さい。

点検

※蓋と本体の接合面およびOリングについては点検し、汚れ、傷や破損がないことを確認して下さい。
デシケーター内の雰囲気や真空の保持が悪くなり、デシケーターとしての性能が発揮出来ません。

※真空用バルブおよび真空計あるいはその取り付け部に異常がないか常に点検して下さい。
また、真空用バルブおよび真空計、またそれらの取り付け部に無用な力を加えないで下さい。

販売元

株式会社 三商

URL: <https://www.co-sansyo.co.jp>